

クリエイトまち塾（企画提案）について

「クリエイトまち塾」は商店街を学校に見立てた、高校生対象の通年型プログラムです。特徴的なのが、担任（店主）・副担任（地元学生）・高校生を1クラスとした「ホームルーム」です。月1回のまちづくり勉強会と並行して、クラスごとに、まちづくり活動にチャレンジし、1年間で得た知見をもとに企画提案を検討しました。

プロジェクト発表について

クリエイトまち塾の参加者は、ホームルームとは別に随時、プロジェクトごとにまちづくり活動をしており、成果発表会では、各プロジェクトの活動報告を行います。また当日は、高校生まちづくり団体の交流を目的として、まちづくり活動に取り組んでいる市内の高校生団体を招き、活動発表をしていただきます。



コーヒーを淹れながら青森の元気を創出

— 高校生カフェプロジェクト

高校生カフェは自分たちが経営するカフェを通じて商店街にある魅力的な商品を多くの人に広めようという目的で、営業や仕入れや接客などをすべて高校生が主役となって活動しているプロジェクトです。今年度は、各種商店街イベントのほか、あおもりマルシェにも出店しました。

まちの新たな資源を活かしてまちづくりを展開

— あおもり駅前ビーチプロジェクト

2020年完成を目標に現在造成中である「あおもり駅前ビーチ」を活かした青森の活性化について考え、県や関係NPOと連携しながら活動をしています。「やりたい」をカタチに。それが直接的に人の笑顔になり、青森の活性化に繋がると考えています。



高校生に向けて商店街の情報を取材&発信

— SNSを活用した商店街情報発信プロジェクト

登録ユーザーへメッセージの一斉配信が可能なLINE@を活用して、高校生たちがもっと気軽に商店街へ足を運べるように商店街の情報を発信しています。高校生の約9割が利用しているLINEを情報発信のツールとし、高校生の目線から取材、記事の執筆を手掛けています。



高校生が商店街の魅力を発見し発信！

— 商店街ツアープロジェクト「語り部」

「語り部」は、昨年度の「クリエイトまち塾」で提案された活動です。地元には沢山の魅力があることに気づいてほしいという高校生たちの思いから始まった活動です。高校生が語り部として商店街に転がっている青森の伝統や文化、商店街の方たちの想いを県内の人たちへ伝えます。



学校の枠組みを超えた文化祭

— 確原色（ゲスト参加）

確原色とは企画から運営まで全てを高校生が担うイベントです。文化や芸術活動をしながらも発表する場のない高校生たちが集まり、自由に発表する。いわば、学校の枠組みを超えた文化祭です。成果発表会の翌週3月19日には4回目となる「確原色」が開催されます。



青森の笑顔の輪を創造する学生団体

— 青森学生団体ASC（ゲスト参加）

A—Aomori S—Smile/Students C—Circle/Create。2015年春に設立。青森市内の高校（北、南、西、明の星、山田、商業）、大学（公立大、保健大、中央学院大）の学生20名程度で活動中。わがまちCM大賞準大賞受賞、青森の新しいお土産作りや、各種イベント運営等。



※LINE および LINE@は、LINE 株式会社の商標または登録商標です。上記掲載は順不同です。発表順とは限りません。